

## 市制20周年を超え、強靱で持続可能な「西海」の礎を築く

西海市長 瀬川 光之



新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新春を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、西海市にとりまして市制施行20周年という記念すべき一年でした。「市民とともに拓く 西海の未来」を合言葉に、「記念式典や様々な事業を滞りなく執り行うことができたのも、ひとえに、地域の社会資本整備を支え、災害時には最前線で市民の安全を守ってくださる皆さまの多大なるご尽力のおかげと、深く感謝申し上げます。

近年、気候変動に伴う自然災害は激甚化・頻発化の一途をたどっています。能登半島地震の教訓や、昨今の記録的な豪雨災害などを鑑みても、強靱な地域づくりの重要性を改めて痛感しております。市民の生命と財産を守る要である道路、橋梁、治山・治水といったインフラ整備は、まさに「地域の守り手」である皆さまの高度な技術力と使命感に支えられています。

西海市を形作る重要なプロジェクトが進行いたします。まず、脱炭素社会の実現に向けた国策プロジェクトである「江島沖洋上風力発電事業」では、選定事業者とともに、環境アセスメントや地域共生策の具体化が進んでおり、建設段階に向けた調査・準備が加速してまいります。

さらに、市民生活に直結する既存インフラにつきましても、長寿命化計画に基づき、予防保全型の更新・修繕を着実に進めてまいります。特に、離島を有する本市において、橋梁や港湾の維持管理は生命線であり、皆さまの専門技術が不可欠となります。

令和8年度の市政運営においては、『挑戦を力に、持続可能な未来を切り拓く』をテーマに掲げ、資材価格の高騰や労働力不足など、建設産業を取り巻く環境が依然として厳しいことは重々承知しております。だからこそ、市といたしまして、適正な工期・価格での発注、施工時期の平準化に努め、地域の守り手である皆さまが健全に経営し、若手が希望を持てる環境づくりに「挑戦」してまいります。

結びに、本市への変わらぬご支援をお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとって実り多き一年となり、事業が益々発展されますことを心より祈念いたします。

## 未来を創る市政、地域を活かす経済

南島原市長 松本 政博



新年、明けましておめでとうございます。皆様が健やかで希望に満ちた新年を迎えられたことを心より喜び申し上げます。

旧年中は市政に対し、温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、大阪・関西万博の開催をはじめ、訪日外国人旅行者数の増加など、日本が世界中の旅行者にとって魅力的な国として注目を集めた年でした。南島原市でもツール・ド・南島原や長崎県障害者芸術祭 南島原講演などのイベントを開催し、多くの来訪者で賑わいを見せました。

一方で、市民の日常生活では物価の上昇や令和の米騒動が、各家庭の経済的負担を増大させました。これに対応するため、本市では消費喚起クーポンや燃料高騰対策などを実施し、市民の安心を確保する取り組みを進めてまいりました。今年も変化する社会情勢に合わせ、必要に応じた各種事業や生活支援などを進めていきます。

昨年は、新たな取り組みとして医療提供体制確保事業や農業用ドローン農薬散布普及実証支援事業、中小企業ステッパアップ事業のDX化・事業継承に対する支援制度の拡充、デジタル相談窓口の設置、広報紙の多言語化などを行いました。

なかも、早期全線開通を目指している「自転車歩行者専用道路」や令和8年度の供用開始を目標としている「原城跡世界遺産センター」は、地域全体の発展に寄与する施策として取り組んでいきます。また、「島原天草長島連絡道路」の事業化、並びに「島原半島西回り道路」の調査検討に向けて更なる前進を目指していきます。

私たちは、今後も市民の声を大切にし、効率的で持続可能な財政運営を実現し、未来志向の市政推進、地域経済の活性化と豊かな社会の構築に取り組み「これからも 住み続けたい 住んでみたい」と思える未来（まち）づくりを目指していきますので皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

## 飛躍に向けて

雲仙市長 金澤 秀三郎



新年、あけましておめでとうございます。

望に満ちた輝かしい新春を迎えることとお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、10月11日に市制施行20周年という節目を迎え、記念式典やフォーラムなどの記念事業を通じて、市民の皆様との一体感を醸成するとともに、本市の未来像を描く貴重な機会となりました。また、まちづくり

の基本方針であります第二次雲仙市総合計画後期基本計画に基づき、市民の皆様のご理解とご協力のもと、様々な施策を講じることが出来ました。

暮らしと安心の分野では、国の万博国際交流プログラムにおいて、国内外に向けた本市の在来種野菜や食文化の魅力発信と関係人口の創出に取り組んだほか、移住・定住の推進を図るために移住促進空き家リフォーム補助金の対象の拡充などを行いました。

観光分野では、高付加価値なインバウンド観光地づくりに向け、雲仙観光局において

今後、現在進めている施策や各種計画について、選択と集中の視点から積極的かつ抜本的な見直しを行うとともに、国の動向や社会情勢を的確に捉え、時期を失することなく、スピード感をもって全力で挑んでまいりますので、さらなるご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、本年がさらなる飛躍の年となりますよう念願いたしますとともに、皆様の益々のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。